

# 秋季 県高校野球

最終日

秋季東北地区高校野球大会は最終日の1日、八戸市長根公園野球場で決勝と3位決定戦を行った。決勝は青森山田が対馬、蝦名の3点本塁打などで効率よく加点。7-4で八戸学院光星を破り、3年連続2回目の優勝を飾った。3位決定戦は、弘前学院聖愛が弘前南との接戦を6-5で制し、残り1枠の東北大会出場権を得た。青森山田、八学光星、聖愛の3校が出場する東北大会は、16日に秋田県で開催。同大会の結果は、来春の選抜高校野球大会（セ・パツ）選出の参考となる。

（本紙取材班）

## 光星ミス連発 好機逃す

【評】青森山田が好投  
手を攻略し、ライバル校  
対決を制した。1-0で

迎えた五回、2死一三  
塁で対馬が3点本塁打を  
放ちリードを広げる。六  
回にも代打蝦名の3点  
を奪封。菊池統、主戦  
手

八学光星は八回4点  
を挙げ、追い上げを見せ  
たものの、あと一歩届か  
なかった。主将砂子田は

「ずっと相手の流れの試  
合だった。練習の成果を  
発揮する以前に、野球そ  
のものが全くできなかった  
」と唇をかんだ。

決勝までの1週間、相  
手投手陣を想定した打撃  
練習に励み、この日の安  
打数は相手を上回る11を  
記録。だが、度重なる走  
塁ミスやサインミスで好  
機を生かせず、思うよう  
に得点を挙げられない展  
開が続いた。砂子田はチ

「夏の甲子園後、新チ  
ームで10回ほど練習試合  
を行い、チームワークを  
深めた。ただ一走塁  
の確認が基本的な部分  
を見直さなければ、また  
を犯す」（棟方好華）

### 光星4得点 一歩届かず

の継投で逃げ切った。  
八学光星は先発岡本が  
7回7失点と崩れた。打  
線も6回まで毎回安打を  
放ちながら、走塁ミスも  
あり好機をものにでき  
ず。八回に敵投手の安打  
などで4点を挙げたが及  
ばなかった。

ヤンスの場面で点を取れ  
ないと、苦しい試合にな  
ってしまっ。一人一人の  
勝負強さや打席での意識  
が不足していた」と振り  
返った。

今夏の甲子園後、新チ  
ームで10回ほど練習試合  
を行い、チームワークを  
深めた。ただ一走塁  
の確認が基本的な部分  
を見直さなければ、また  
を犯す」（棟方好華）

「夏の甲子園後、新チ  
ームで10回ほど練習試合  
を行い、チームワークを  
深めた。ただ一走塁  
の確認が基本的な部分  
を見直さなければ、また  
を犯す」（棟方好華）

今夏の甲子園後、新チ  
ームで10回ほど練習試合  
を行い、チームワークを  
深めた。ただ一走塁  
の確認が基本的な部分  
を見直さなければ、また  
を犯す」（棟方好華）